

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,039	△10.9	△196	—	△219	—	△203	—
26年3月期第1四半期	5,654	6.6	△37	—	△43	—	△88	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △236百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△5.91	—
26年3月期第1四半期	△2.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	10,831	7.8	2,421	7.8		
26年3月期	11,073	9.9	2,770	9.9		

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 845百万円 26年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,900	△3.2	△75	—	△100	—	△80	—	△2.32
通期	24,200	△2.4	500	△11.8	470	△14.7	360	12.5	10.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	34,497,058 株	26年3月期	34,497,058 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	15,966 株	26年3月期	15,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	34,481,092 株	26年3月期1Q	34,481,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、第1四半期決算補足説明資料を、この四半期決算短信公表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や金融政策により緩やかな回復の兆しが見られたものの、平成26年4月に実施された消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減や個人消費の落ち込み等により厳しい状況が続きました。

当社グループが属する業界におきましては、特に嗜好品・高額品を取り扱う業界において消費動向が不安定であり、企業間競争の激化などもあり、依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況のもと、当社グループでは、当第1四半期連結累計期間より、「第二創業 ～2nd Stage～」と位置づけ、全報告セグメント黒字化の定着を土台として、今後の更なる成長、業績の継続的な拡大を目指す準備のために各種施策・投資を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策を継続することに加え、グループ全体の人財育成策として、山野美容芸術短期大学と提携した「美道特別研修」を新たにスタートさせております。当社グループの企業理念である「美道五原則」（「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」の調和）を深化させるとともに、茶道を通じたマナー研修を通じ、接客力強化及び将来の中核的人財育成の強化に努めてまいります。

この結果、売上高は50億39百万円（前年同四半期比10.9%減）、営業損失は1億96百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）、経常損失は2億19百万円（前年同四半期は経常損失43百万円）、四半期純損失は2億3百万円（前年同四半期は四半期純損失88百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、平成26年4月1日付のグループ内の組織再編に伴い、セグメントの管理区分を見直したことにより、記載する報告セグメント区分の変更を行っております。前期比較については、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「3 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「3 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

1) 「美容事業」

美容事業につきましては、「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修を他社との差別化戦略としておりますが、当第1四半期連結累計期間においては「アンチエイジングサロン」への店舗改修を1店舗実施、また、前期より引き続き、着付け技術取得者の増員、実施店舗の拡大を図っており、人財育成強化によるサービスメニューの拡大を推進しております。

なお、平成26年6月30日現在の店舗数は、直営103店舗、FCは1店舗を閉鎖し5店舗となっております。

美容事業においては、前連結会計年度に12店舗の閉鎖・統合を実施した影響があり、売上高は、6億6百万円（前年同四半期比12.4%減）となり、セグメント利益10百万円（前年同四半期比39.6%減）となりました。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては専門店ならではの提案力強化、体験サービスイベントの開催、メンテナンスサービスの商品化等を推進しております。なお、平成26年6月30日現在の店舗数は17店舗となっております。

スポーツ事業においては、メンテナンスサービス強化のため、順次、最新型チェーンアップマシンの機材投入を実施しておりますが、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動減が顕著であったこと、また、天候不順によるマリンスポーツの夏物商戦立上りが不振であったこと等により、売上高は7億7百万円（前年同四半期比9.7%減）となり、セグメント損失75百万円（前年同四半期はセグメント損失47百万円）となりました。

3) 「DSM事業」

DSM事業につきましては、大型催事である「きものパーティ」や、マシンによる物づくりの場「マシンフェア」など、お買い物以外の顧客ニーズに応える催事を継続的に開催する一方で、各ショップにて洋装品を中心にしたミニ展示会を開催し、商品提案の場を広げる施策を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては販売物流システムの更改を実施し、事業所間での情報・ナレッジの共有を強化、収益力向上に努めております。なお、平成26年6月30日現在の店舗数は83店舗となっております。

この結果、DSM事業の売上高は6億81百万円（前年同四半期比14.1%減）となり、セグメント利益4百万円（前年同四半期比86.8%減）となりました。

4) 「和装宝飾事業」

当第1四半期連結累計期間においてグループ内組織再編を実施し、従来の「和装・アパレル事業」と「宝飾事業」を統合し、「和装宝飾事業」とする体制をスタートさせました。営業管理体制を統合することにより、店舗運営ノウハウを共有し相乗効果を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、和装小売店舗が2店舗の新規出店を実施、宝飾小売店舗1店舗の閉鎖を実施し、平成26年6月30日現在の店舗数は、和装小売店舗が66店舗、宝飾小売店舗が26店舗、洋装小売店舗が9店舗となっております。

和装宝飾事業においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が、特に宝飾品販売において顕著となり、その結果、売上高は14億86百万円（前年同四半期比8.4%減）となり、セグメント損失59百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

5) 「卸売事業」

卸売事業につきましては、百貨店における売場コーナー化の推進に向けた施策を実施し、「卸から顧客創造」戦略を推進しております。なお、平成26年6月30日現在のタケオニシダ直営店の店舗数は17店舗となっております。

当第1四半期連結累計期間においては、消費税率引上げの影響により百貨店店舗の売上高が減少したため、卸売事業の売上高は14億10百万円（前年同四半期比13.1%減）となり、セグメント損失61百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）となりました。

6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、1億47百万円（前年同四半期比6.1%増）となり、セグメント損失1百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億41百万円減少し108億31百万円となりました。これは主に、現金及び預金が61百万円減少、受取手形及び売掛金が5億30百万円減少、商品及び製品が3億68百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億6百万円増加し84億10百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が25百万円減少、短期借入金が1億49百万円増加、長期借入金が24百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3億48百万円減少し24億21百万円となりました。これは主に、剰余金の配当51百万円、四半期純損失2億3百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の経営成績及び当社グループを取り巻く環境を踏まえ、平成26年5月15日公表の業績予想の内容から、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益について修正しております。その詳細は平成26年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,493,959	1,432,909
受取手形及び売掛金	2,823,215	2,292,826
商品及び製品	2,918,370	3,286,540
仕掛品	29,420	33,938
原材料及び貯蔵品	47,128	60,618
繰延税金資産	36,710	36,710
その他	273,556	281,845
貸倒引当金	△64,816	△63,305
流動資産合計	7,557,544	7,362,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,669,326	1,647,556
減価償却累計額	△1,164,764	△1,140,186
建物及び構築物(純額)	504,562	507,370
機械装置及び運搬具	23,900	23,900
減価償却累計額	△23,445	△23,480
機械装置及び運搬具(純額)	455	420
工具、器具及び備品	437,049	437,263
減価償却累計額	△392,566	△394,351
工具、器具及び備品(純額)	44,482	42,912
土地	737,821	737,821
リース資産	39,292	53,989
減価償却累計額	△15,874	△18,580
リース資産(純額)	23,417	35,409
建設仮勘定	9,470	-
有形固定資産合計	1,320,210	1,323,933
無形固定資産		
のれん	217,220	202,219
その他	150,328	138,727
無形固定資産合計	367,548	340,946
投資その他の資産		
投資有価証券	145,386	148,192
長期貸付金	12,696	12,237
繰延税金資産	92,677	92,677
敷金及び保証金	1,329,490	1,309,348
その他	382,127	375,283
貸倒引当金	△134,145	△133,056
投資その他の資産合計	1,828,232	1,804,682
固定資産合計	3,515,992	3,469,562
資産合計	11,073,537	10,831,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,184,704	3,159,417
短期借入金	160,000	309,000
1年内返済予定の長期借入金	256,920	254,200
未払金	480,205	503,751
繰延税金負債	1,337	712
前受金	1,253,441	1,263,006
未払法人税等	66,545	32,137
賞与引当金	12,920	14,781
返品調整引当金	14,522	11,158
ポイント引当金	56,224	54,033
株主優待引当金	3,575	3,575
その他	480,914	496,417
流動負債合計	5,971,312	6,102,191
固定負債		
長期借入金	1,743,980	1,719,970
長期末払金	241,120	248,574
繰延税金負債	25,042	25,736
資産除去債務	173,584	171,620
負ののれん	338	170
その他	147,862	141,757
固定負債合計	2,331,928	2,307,829
負債合計	8,303,241	8,410,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,259	1,259
利益剰余金	984,663	729,220
自己株式	△3,019	△3,019
株主資本合計	1,082,903	827,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,694	11,483
為替換算調整勘定	8,645	6,934
その他の包括利益累計額合計	18,340	18,417
少数株主持分	1,669,051	1,575,747
純資産合計	2,770,295	2,421,625
負債純資産合計	11,073,537	10,831,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,654,271	5,039,819
売上原価	3,326,702	2,964,458
売上総利益	2,327,568	2,075,360
販売費及び一般管理費	2,364,665	2,271,925
営業損失(△)	△37,097	△196,565
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,342	1,580
受取地代家賃	4,525	2,950
負ののれん償却額	1,984	169
その他	13,798	3,799
営業外収益合計	21,651	8,499
営業外費用		
支払利息	19,529	11,000
手形売却損	585	632
支払手数料	-	9,320
その他	7,941	10,116
営業外費用合計	28,056	31,070
経常損失(△)	△43,502	△219,135
特別利益		
負ののれん発生益	-	20,136
特別利益合計	-	20,136
特別損失		
固定資産除却損	3,753	1,538
減損損失	29,450	1,545
店舗閉鎖損失	2,219	4,984
その他	4,189	1,744
特別損失合計	39,612	9,813
税金等調整前四半期純損失(△)	△83,115	△208,813
法人税、住民税及び事業税	17,458	26,723
法人税等調整額	-	△670
法人税等合計	17,458	26,053
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,573	△234,866
少数株主損失(△)	△12,059	△31,145
四半期純損失(△)	△88,513	△203,721

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,573	△234,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,013	1,670
為替換算調整勘定	12,150	△3,065
その他の包括利益合計	16,163	△1,395
四半期包括利益	△84,409	△236,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,847	△203,643
少数株主に係る四半期包括利益	△5,561	△32,617

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	15,041	15,041,000	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
	B種優先株式	31,756	31,756,458			

(注) 1. A種優先株式の発行数は1株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額10,041千円は累積され、当期の配当額5,000千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

2. B種優先株式の発行数は1株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額21,199千円は累積され、当期の配当額10,556千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月15日 取締役会	普通株式	51,721	1.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	DSM	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	691,986	783,280	793,781	1,622,914	1,623,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	25,774
計	691,986	783,280	793,781	1,622,914	1,649,255
セグメント利益又は損失(△)	17,256	△47,637	32,674	△3,659	△14,045

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	5,515,443	138,827	5,654,271	—	5,654,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,774	6,378	32,153	△32,153	—
計	5,541,218	145,205	5,686,424	△32,153	5,654,271
セグメント利益又は損失(△)	△15,412	△4,077	△19,489	△17,607	△37,097

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△17,607千円には、のれん償却額△13,615千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,521千円及び棚卸資産の調整額2,529千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「美容」セグメントにおいて、固定資産の売却決定による減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては29,450千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	606,056	707,687	681,804	1,486,436	1,410,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	24,797
計	606,056	707,687	681,804	1,486,436	1,435,343
セグメント利益又は損失(△)	10,429	△75,415	4,299	△59,788	△61,316

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	4,892,532	147,286	5,039,819	—	5,039,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,797	12,807	37,604	△37,604	—
計	4,917,329	160,094	5,077,423	△37,604	5,039,819
セグメント利益又は損失(△)	△181,792	△1,127	△182,919	△13,645	△196,565

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△13,645千円には、セグメント間取引消去2,238千円、のれん償却額△12,334千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,530千円及び棚卸資産の調整額1,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「和装宝飾」セグメントにおいて、店舗閉鎖の決定による減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,545千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である堀田丸正株式会社より、HMリテーニングス株式会社の株式を取得し、当社の100%子会社としたことに伴い、「和装宝飾」セグメントにおいて負ののれん発生益を20,136千円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、「美容」、「スポーツ」、「D S M」、「和装・アパレル」、「卸売」、「宝飾」としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「美容」、「スポーツ」、「D S M」、「和装宝飾」、「卸売」に変更しております。これは、事業構造変革の一環として既存の組織を見直し、従来以上に相乗効果を発揮すべく組織の一部を再編成したことに伴うものであります。

従来、独立した報告セグメントとしていた「和装・アパレル」と「宝飾」を「和装宝飾」に統合しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。